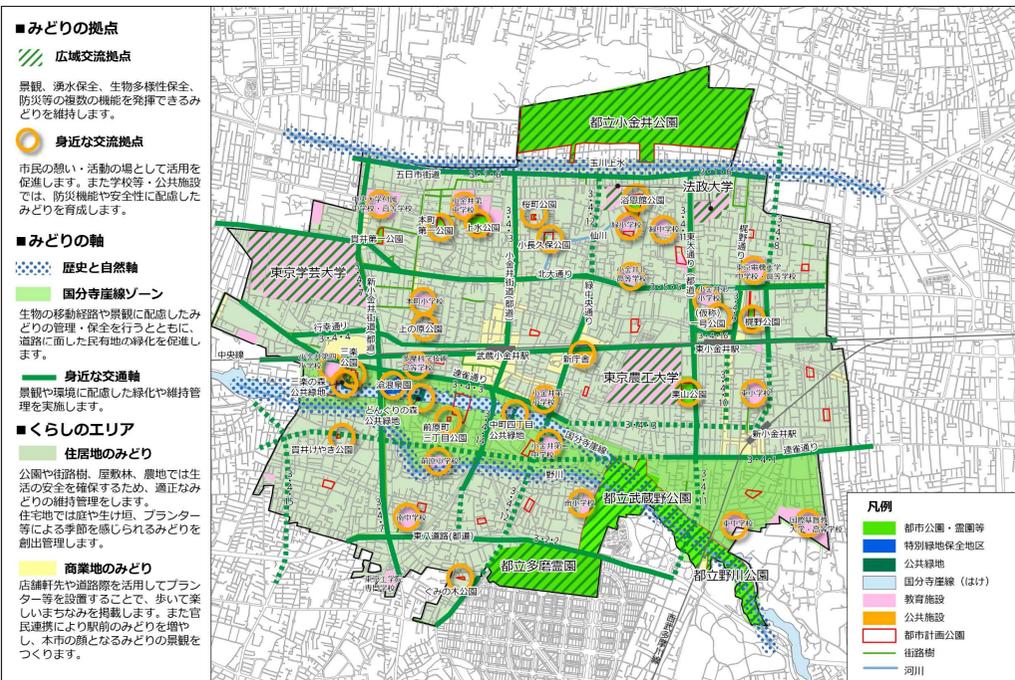


■みどりの規模などに応じたみどりを保全・創出、適正な管理を行います



小金井市 みどりの基本計画 概要版

小金井すみどりの基本計画フォトコンテスト最優秀賞作品（作品名：緑園）

? みどりの基本計画とは

本編p.62

■みどりをみんなで守り、つくるための計画です

みどりの基本計画は、法律（都市緑地法）に基づく計画です。前回策定時から、およそ10年が経過したことから、小金井のみどりのいまや社会の変化などを踏まえ、次の10年間（令和12年度まで）に、みどりをみんなで守り、つくるためにやるべきことを盛り込んだ計画を策定しました。

小金井のみどりのいま

本編p.1~7

■みどりは貴重な財産であり、市民の誇りです

本市は、国分寺産線（はけ）の樹林地や湧き水、野川など豊かなみどりに恵まれています。また、市街地には農地や社寺林・屋敷林、大学などのみどりが残っており、市民の多くが「小金井市の良い点・自慢したい点」として「みどりや水辺の自然」と回答しています。

同フォトコンテスト入賞作品（作品名：サクラ満開の野川）



■10年間で約40ha（小金井公園の約半分）のみどりが減少しています

近年は、みどりの量が減少しており、10年間で、40.53ha減少しています。これは小金井公園の面積のおよそ半分、東京ドーム約8.5個分にあたります。また減少したみどりは、住宅地の小さなみどりや農地などの民有地のみどりも多いです。

■住宅都市のみどりは、適切な管理（質の向上）が求められています

樹木は大きくなりすぎると、台風による倒木などの危険があります。安全な暮らしを守るためには、樹木をこまめに剪定・伐採するなど適切な維持管理を行うことが重要です。

計画の目標と進行管理

本編p.13~15、65~66

取組を着実に進めるため、令和12年度までに達成するみどりの量と質の目標を設定します。また、その他の指標も用いて、取組の進捗状況の把握と必要に応じて施策の見直しなどを検討します。

目標1 緑被率：新たな取組により、減少傾向を緩やかにします

みどりを保全・創出するための新たな取組をしない場合、今後10年間で約44haのみどりの減少に伴い、約4%の緑被率が減少すると予測されています。これに対して、新たな取組を推進することにより、約20haのみどりを新たに保全・創出し、緑被率を28.0%に維持します。

(令和元年度) 30.2% ⇒ **28.0%**

目標2 みどりの質の満足度

(令和元年度) 67.8% ⇒ **80.0%**

目標3 環境美化サポーター等登録者数

(令和元年度) 308人 ⇒ **410人**

小金井市
みどりの基本計画
概要版（令和3年3月）

問合せ先：小金井市環境部環境政策課 緑と公園係
住所：〒184-8504 東京都小金井市本町六丁目6番3号
TEL：042-387-9860 / FAX：042-383-6577
E-mail：s040199@koganei-shi.jp
HP：<http://www.city.koganei.lg.jp>

～みんなで育み、つなげるみどりの小金井～

公園、社寺、農地、住宅の庭など様々な場所にあるみどりをみんなで育み（守ったり、つくったり、いかに）、つなげることで、住宅都市にふさわしい質の高いみどりがあふれるまちを目指します。



計画の基本方針と具体的な取組

基本方針1 みどりをを守る 本編p.19~27

本市を特徴づける国分寺崖線、野川、公園などのみどりを市、東京都、周辺自治体、事業者、市民などの多様な主体が連携して引き続き、適切な維持管理をして、保全します。

また、農地、社寺林や屋敷林や個人住宅の庭など、民有地に広がるみどりを支援制度を活用しながら、次世代へ継承します。

(1) 国分寺崖線・野川のみどりをを守る

- ・各種制度を活用し、国分寺崖線及び周辺部のみどりを保全します。
- ・東京都、周辺自治体、市民と連携して、野川の自然環境を保全します。

(2) 民有地のみどりをを守る

- ・市の支援制度を活用して民有地のみどりの維持に努めます。

(3) 農地を守る

- ・農家の方が営農を継続できるよう支援をします。
- ・農業体験など、みどりとふれあう場として農地を活用します。

(4) 玉川上水のみどりをを守る

- ・史跡、名勝としての良好な姿を守り、次世代に継承します。
- ・玉川上水沿道をできる限り緑化します。

★市民・事業者のみなさんに取り組んでほしいこと！

- ・市の特徴的なみどりに親しみ、大切さを理解します。
- ・家の樹木やその周辺のみどりの適切な管理を行います。
- ・市や東京都などとともに野川の自然回復・活用に取り組めます。
- ・市が主催するみどりの維持管理ボランティアに参加します。
- ・地元の野菜を購入したり、援農ボランティアに参加して、農家を応援します。
- ・市民農園などを活用して、みどりに触れる機会を増やします。

【特に事業者のみなさん！】

- ・宅地開発や施設整備などの際は既存樹木をできる限り保全します。
- ・事業所敷地内のみどりの適切な維持管理を行います。
- ・市内での市民農園の運営などの事業化について検討します。

【特に農業者のみなさん！】

- ・市の支援制度を活用して、農地を次世代に継承します。



■市、事業者、市民で役割分担し、協働します

市

- ・公園や街路樹、公共施設の整備や管理を行い、魅力あるまちづくりに取り組みます。
- ・事業者及び市民が行うみどりに関する取組の支援や連携の強化に努めます。

事業者

- ・本市の発展を担う一員として事業所の緑化などのみどりの保全や創出に貢献します。
- ・企業の社会的責任を果たすため、市や市民のみどりに関する取組に連携・支援します。

市民

- ・一人ひとりが、みどりに親しむとともに果たす様々な役割を理解し、みどりを大切にします。
- ・市民団体は他の団体との連携も進めながら、みどりに関する取組が広がるように努めます。

基本方針2 みどりをつくる 本編p.28~37

公園などの整備を行うとともに、樹木の剪定や更新など、適正な管理を行い、市民が親しみやすく、利用しやすい公園をつくります。

住宅地や事業所などの民有地では、樹木、生け垣、花壇、プランターなどのみどりを創出し、身近にみどりを感じられるまちづくりを推進します。

(1) 魅力ある公園をつくる

- ・新たな公園を整備します。・利用者の少ない公園を改善します。
- ・既存の公園の機能を充実・更新します。
- ・事業者、市民とともに公園管理をします。

(2) 公共施設のみどりをつくる

- ・安全確保を第一に、環境学習や防災機能など、場所に合った適切なみどりの整備、維持管理をします。

(3) みどりのまちなみをつくる

- ・市、事業者及び市民が一丸となって、住宅地のみどりの創出、育成に取り組みます。

(4) みどりの軸をつくる

- ・地域住民の理解を得ながら、街路樹などを整備し、多様なみどりを結びつけ、みどりのネットワークを充実させます。

★市民・事業者のみなさんに取り組んでほしいこと！

- ・自宅の庭やベランダ、プランターなどへの草花による緑化に取り組みます。
- ・道路や遊歩道の植栽の維持管理、清掃に協力します。
- ・公共施設の植栽や生け垣の維持管理に参加します。
- ・環境美化サポーターや公園サポーター会議に参加し、公園の管理運営に参画します。
- ・建物の新築、改修を行う場合は、敷地の一部を緑化します。

【特に事業者のみなさん！】

- ・一定規模以上の開発を行う場合には、公園を整備したり、公園協力を金納めることで、公園の魅力向上に還元します。
- ・事業所の駐車場やベランダ、壁面や屋上部の緑化に取り組みます。

基本方針3 みんなで取り組む 本編p.38~42

市、東京都、事業者、市民など様々な主体が協働して、多様な世代がそれぞれの興味や特技に応じて参加、交流できるよう、多様なみどりの活動の場や機会を確保し、次世代のみどりの担い手を育成します。

(1) みどりについて知り、親しむ

- ・市、事業者及び市民が互いに情報や状況を共有し、みどりへの理解と愛着を深めます。
- ・みどりに関するイベントや学習機会を提供し、みどりに関する活動への関心を育てます。

(2) みどりに関する活動に取り組む

- ・みどりと関わる手段を広げ、より多くの人々がみどりのために活動できる環境を整えます。
- ・ボランティア団体の横のつながりを支援し、活動の活性化を図ります。

★市民・事業者のみなさんに取り組んでほしいこと！

- ・環境学習に参加し、みどりに対する理解を深めます。
- ・市や事業者、他の市民が発信するみどりの情報を収集します。
- ・ガーデニングなどに取り組み、みどりを通じたコミュニケーションを図ります。
- ・みどりの調査などに参加し、みどりの現状を把握、発信します。
- ・市が開催する講習会などに参加し、ボランティア活動のきっかけづくりやみどりに関わる仲間づくりの場として活用します。
- ・みどりに関するボランティア活動、募金などに参加します。
- ・ボランティア同士の連携を強め、コミュニティ形成を図ります。

【特に事業者のみなさん！】

- ・事業所の緑化などをPRし、みどりの魅力を発信します。
- ・ボランティア活動に地域の一員として参加します。
- ・みどりに関する募金に参加して、活動を支援します。
- ・みどりの調査や、みどりに関するイベント・講座などの機会を提供します。
- ・多様なボランティア活動との連携や人材育成に協力します。